

# 人体構造機能学

[講義] 第1学年 後期 必修 1単位

《担当者名》濱田 淳一 jun1hamada@hoku-iryo-u.ac.jp

## 【概要】

人体構造機能学、およびと合わせて、解剖・生理学の知識と考え方を会得し、人体の構築と機能の恒常性を維持する機構の巧妙さを学ぶ。このシリーズの講義は、今後開講される病理学、病態学、看護学などを習得する上で基礎となるものである。

## 【学修目標】

人体構造機能学では、血液、免疫、腎・泌尿器の構造と機能および骨格・筋の構造を正しく理解し、人の生きるしくみにどのように関わっているのか説明できるようになることを目標とする。

## 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	血液	血液の構成成分と造血	濱田
2	血液	凝固線溶系	濱田
3	免疫 1	免疫担当臓器と生体防御の概論	濱田
4	免疫 2	感染免疫・移植免疫・腫瘍免疫	濱田
5	腎・泌尿器 1	腎臓の構造と機能(1)	濱田
6	腎・泌尿器 2	腎臓の構造と機能(2)	濱田
7	腎・泌尿器 3	腎臓の構造と機能(3)	濱田
8	腎・泌尿器 4	尿管・膀胱・尿道の構造と機能	濱田
9	骨格・筋 1	骨と骨格筋の構造と機能(1)	濱田
10	骨格・筋 2	骨と骨格筋の構造と機能(2)	濱田
11	骨格・筋 3	体幹の骨格・筋の構造と機能(1)	濱田
12	骨格・筋 4	体幹の骨格・筋の構造と機能(2)	濱田
13	骨格・筋 5	上肢の骨格・筋の構造と機能	濱田
14	骨格・筋 6	下肢の骨格・筋の構造と機能	濱田
15	骨格・筋 7	頭頸部の骨格・筋の構造と機能	濱田

## 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

## 【評価方法】

定期試験100%

## 【教科書】

系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学：人体の構造と機能(1) 坂井建雄・岡田隆夫・宇賀貴紀共著(医学書院)(デジタル教科書)

## 【参考書】

からだが見える(メディックメディア)

骨単(語源から覚える解剖学英単語集(骨編))(原島広至 著・河合良訓 監修、エヌ・ティー・エス)

肉単(語源から覚える解剖学英単語集(筋肉編))(原島広至 著・河合良訓 監修、エヌ・ティー・エス)

## 【備考】

Google Classroomを利用して学習資料などを提示する。授業ごとに小テストをGoogle Formを用いて実施するとともに出席状況を管理する。

## 【学修の準備】

・次回の授業範囲を教科書で熟読した上で疑問点を整理しておくこと(30分)。

・講義終了後は、配布プリントを見直すとともに復習問題がある場合は次回までに解いておくこと（30分）。

**【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】**

DP2：看護専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。